

～色彩を通して景観を考える～

7th

NPO法人景観デザイン支援機構（TDA）では、これまで景観アドバイザー・サミット、景観デザイン・フォーラムと景観デザイン交流会を計7回開催し、地方自治体の景観事前協議や特定な地区の景観形成などにおいて委員やアドバイザーとしてこのプロセスに係わっている専門家と自治体担当者の参加を得て、景観形成における景観事前協議の役割と取り組みの実情を明らかにするとともに、その課題と可能性について議論し、景観づくりに取り組む行政担当者や専門家の情報交換や交流の場を提供してきました。

今回の景観デザイン交流会では、「色彩を通して景観を考える」をテーマとして取り上げます。現在、多くの景観行政団体では、景観計画に定められた建築物または工作物の形態意匠の制限の中に定量的な（マンセル表色系による）色彩基準を設け、景観形成の誘導が図られています。また、景観形成基準のうち色彩基準が詳細な定量的基準となっていることもあり、景観誘導が色彩を中心とするネガティブチェックに止まっていることも現実です。その中で、特定の色彩を排除すればよりよい景観形成が実現するといった安直な取組も少なくないようです。幾つかの景観形成団体では、景観色彩のガイドラインを定め、環境色彩のあり方を含む、景観色彩の誘導の方向性を示すようになってきています。一方、日常眼にする公共施設においても、道路舗装、ガードレール、視覚障害者のための誘導用ブロック、自転車用レーンなど、景観色彩の課題が未だ十分に議論されないまま放置されています。

そこで、この度の景観デザイン交流会では、色彩を通して景観のあり方について、事例の報告をもとに議論し、課題の共有を図っていきたいと思います。

■日 時：2018年8月4日(土) 14:00～17:00

■会 場：コトブキDIセンター

(東京都港区浜松町1丁目14-5(株)コトブキ2F)

■参加費：無料

※立食パーティによる懇親会も予定しております
(懇親会参加費3,000円)

■申込方法

下記アドレスの申込フォームよりお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/f6eFpqitsYsV6pMF2>

QRコードからアクセスできます ▶

または main@tda-j.or.jp までメールにて。



●プログラム

1) 東京都における景観行政の取り組みと課題

□蓮見 修氏 (東京都都市整備局景観担当課長)

2) 事例報告

◆景観色彩ガイドラインと景観誘導

□板橋区都市計画課都市景観室担当

◆色彩ガイドラインのその先

□吉田 慎悟 (武蔵野美術大学教授/TDA副代表理事)

◆景観色彩は建物だけじゃない

□杉山 朗子 (日本カラーデザイン研究所/TDA正会員)

3) パネルディスカッション

司 会：倉田 直道 (工学院大学名誉教授/TDA代表理事)

パネリスト：国吉 直行 (横浜市立大学/TDA正会員) / 吉田 慎悟 / 杉山 朗子 / 板橋区



景

観

デ

ザ

イ

ン

交

流

会



主催：特定非営利活動法人景観デザイン支援機構
協力：東京都都市整備局